

川の暮らし

アマゾン川の支流のひとつナナイ川に、小さな村の港から出発しました。港には材木からプロパンガスまであらゆるものが運び込まれ、アマゾン流らしく雑然と扱われていました。水位があまりに高いのでお店などは水没してしまっていました。

船で川をのぼっていくと、川沿いにぽつぽつと集落が現れ、洗濯物を洗っている女性たちが気さくに手を振ってくれます。中には今でも昔のままの暮らしをしている先住民族の村もありました。一緒に踊ったり、吹き矢の体験をさせてもらいましたが、最後にお土産をすすめてくるなど、ちょっと観光化されているのが現在のアマゾンだなと思いました。



港のバーは水没していました。



水たまりにはまったモトカーロを何度も押しながらたどり着いた港。材木がたくさん積まれていました。



川に放り投げたプロパンガスを流して運んでいました。
日本ではちょっと考えられない荒っぽさです。



共同で魚を捕る漁師。のどが渴くと川の水をそのまま飲んでいました。



先住民族の村。
妙に観光地化されているのが不思議な感じです。



吹き矢の実演。自分もやってみましたが、吹く息が弱くてちゃんと当たらませんでした。

